

地域環境保全功労者功績内容等（都道府県）

県 別	氏名・年齢・職業	主 要 経 歴	功 績
北海道	<small>なかじま せいさく</small> 中島 清作 （81歳） 滝川市環境保全協会会長	昭和61年 滝川市公害防止協会会長 平成 5年～ 滝川市環境保全協会会長 平成 9年～ 北海道環境保全推進員	多年にわたり滝川市環境保全協会の会長として、関係法令の説明会、知識人による講習会の開催や大気・水質などの公害の発生防止、先進地視察、会報の発行など一貫して、環境保全の思想普及並びに公害発生の防止に鋭意努力し、市民が安全で健康に暮らせる住み良い地域社会の形成に多大な貢献をしている。
北海道	<small>あつけしちょう</small> 北海道厚岸町 代表者 厚岸町長 澤田 昭夫		多年にわたり、自然環境の保全に努め、特に、厚岸湖・別寒辺牛湿原の平成5年6月ラムサール条約への登録以降は、上流域の公益保全林の土地取得、造林事業の実施、また、水鳥観察館の開設等による水鳥等の野生生物の生息動向の把握、学術調査研究の支援、湿原保全と賢明な利用の普及・啓発等により、自然環境の保全について、全町的な取組を推進している。
茨城県	<small>すずき まさと</small> 鈴木 昌友 （69歳） 茨城大学名誉教授	茨城県自然環境保全審議会副会長 茨城県環境審議会委員 環境保全茨城県民会議副議長 茨城大学名誉教授	多年にわたり、茨城県の植物調査・研究に努め県内の自然環境保全のリーダーとして活躍するとともに、自然観察会等を通して自然保護思想の普及啓発に努めている。また、茨城県自然環境保全審議会副議長、茨城県環境審議会委員として、環境行政の推進に寄与している。さらに、環境保全茨城県民会議の副議長として、県民運動の普及に尽力している。
千葉県	<small>もりぐち みのる</small> 森口 實 （74歳） 千葉県環境影響評価審査会会長	昭和 53年6月 千葉県窒素酸化物対策専門委員 昭和 56年2月 千葉県環境影響評価審査会委員 昭和 57年5月 千葉県光化学スモッグ対策専門委員 平成 7年2月 千葉県環境影響評価審査会会長 平成 8年2月 千葉県大気環境保全対策専門委員会副会長	千葉県環境影響評価審査会会長として環境影響評価技法等の指導的役割を果たすとともに、千葉県大気環境保全対策専門委員会副会長として浮遊粒子状物質対策推進事業の調査方法について技術的・専門的な指導・助言を行い、千葉県の環境行政の推進に大きく貢献している。

県別	氏名・年齢・職業	主要経歴	功績
新潟県	つうせんがわ 通船川ルネッサンス21 代表者 星島 卓美	設立 平成2年2月 構成員 36名	商店や地域の活性化を図るために通船川を再生して、住み良いまちづくりを目的として結成し、以降通船川の環境調査や再生の研究を行い、さらに各種のイベントを開催している。
富山県	たけうち しげや 竹内 茂彌 (62歳) 富山大学教育学部教授	昭和40年8月 富山大学教育学部助手 昭和47年4月 富山大学教育学部講師 昭和50年3月 富山大学教育学部助教授 昭和60年4月 富山大学教育学部教授	平成2年から県の環境審議会廃棄物専門部会長として産業廃棄物処理計画や産業廃棄物適正処理指導要綱の策定に貢献したほか、環境影響技術審査会会長として、環境影響評価技術指針の策定に貢献した。また、13年度からスタートする県の総合計画の策定に当たっては、総合的な推進施策を研究する環境政策研究会の座長として重要な提言をまとめるなど、環境行政の推進に多大な貢献をした。
石川県	たけだ としあ 竹田 俊雄 (82歳) ホクリクサンショウウオを守る会会長	昭和46年 ホクリクサンショウウオ発見 昭和46年 日本爬虫類学会会員 昭和53年 日本両生爬虫類研究会会員 昭和53年 羽咋市文化財保護審議会委員 昭和63年 ホクリクサンショウウオを守る会結成	昭和46年に羽咋市内で新種ホクリクサンショウウオを発見して以来、能登半島全域にわたり生息調査、同種の生態研究に積極的に取り組む一方、ホクリクサンショウウオを守る会を結成し、その貴重性を訴え、生息地の環境保護と種の保存を図るため保護対策に尽力されている。また羽咋市文化財保護審議会の委員を務めるなど、自然環境の保全、野生鳥獣保護思想の普及に貢献している。
福井県	まし ひこべい 岸 彦平 (76歳) 薬局経営	福井県公害センター所長 福井県水質審議会委員 福井県公害対策審議会委員 福井臨工公害審査委員会委員 福井県環境審議会委員 福井県環境審議会副会長	福井県公害センター所長として、県の公害・環境行政の確立及び進展に大きく貢献するとともに、昭和57年4月から福井県水質審議会委員、福井県公害対策審議会委員及び福井臨工公害審査委員会委員としてふるさと福井環境プラン、福井県環境影響評価要綱の制定などに活躍した。また、平成6年8月からは福井県環境審議会委員として、平成10年2月からは同審議会の副会長として、福井県環境基本条例、福井県環境影響評価条例の制定、産業廃棄物処理計画の改定など、環境行政の推進に尽力した。

県別	氏名・年齢・職業	主要経歴	功績
岐阜県	かなやま ふじこ 金山 富士子 (63歳) 岐阜県生活学校連絡協議会会長	昭和55年4月 平成6年～ 平成6年～ 土岐市生活学校代表 岐阜県生活学校連絡協議会会長 岐阜県環境審議会委員	土岐市生活学校代表及び岐阜県生活学校連絡協議会会長として、身近な環境問題の解決・改善を目指し、長年地道な活動を行ってきた。昭和58年から地域における廃食油回収を継続して実施し、水質浄化に努めた。また、昭和62年からは牛乳パックの回収事業を開始し、廃棄物の減量化・リサイクル運動についての市民の理解及び協力を促し、環境保全意識の浸透に積極的に取り組んだ。
静岡県	はしもと けいじ 橋本 圭司 (64歳)	昭和34年 昭和37年～ 平成8年 平成12年 神奈川県工業試験所勤務 静岡県職員 (衛生環境センター、県環境保全課等) 常葉短大環境システム研究所 静岡県環境カウンセラー協会副会長	30余年にわたり、県職員として環境保全、公害防止対策に関する研究業務及び行政に従事し、地域環境の改善に尽力した。特に田子の浦港の公害問題に対しては、ヘドロの処理方法を開発する等公害防止対策に係る研究業務の功績は多大なものがあり、また、環境行政担当者としては、地球温暖化防止対策地域推進計画の原案をまとめる等、静岡県における今日の環境行政の基盤作りに貢献した。
愛知県	いとう たかよし 伊藤 高義 (60歳) 名古屋大学法学部教授	愛知県環境審議会委員 愛知県環境審議会総合政策部会長 愛知県公害審査会委員 愛知県自然環境保全審議会委員	多年にわたり愛知県環境審議会委員として、環境保全に関する重要事項の審議、提言をされた。特に「愛知県環境基本条例」の制定や「愛知県環境基本計画」の策定にあたっては、総合政策部会長として指導的役割を果たされるなど愛知県の環境行政の推進にご尽力された。また、愛知県公害審査会委員、自然環境保全審議会委員を務めるなど、愛知県の環境行政に多大の貢献をしている。
京都府	うじ 宇治愛鳥緑の少年団 代表者 中島 愛治	設立 昭和61年2月 構成員 58名	多年にわたり、子供たちとその保護者が一体となった地域の緑化や美化活動のみならず、子供への環境教育の実践など、環境保全に関する普及啓発活動に尽力している。

県別	氏名・年齢・職業	主要経歴	功績
兵庫県	いさの こういち 砂野 耕一 (70歳) 川崎重工業株式会社 顧問	平成元年 川崎重工業(株)常務取締役 平成2年 (財)ひょうご環境創造協会理事 平成3年～ 兵庫県公害防止管理者協会会長 (現兵庫県環境保全管理者協会会長) 平成7年 (財)兵庫県環境クリエイトセンター理事	平成元年常務取締役就任とともに、社内環境管理業務を統括し、「第1次環境保全活動基本計画」を策定するなど、全社的な環境保全活動の推進に尽力した。また、兵庫県公害防止管理者協会(現兵庫県環境保全管理者協会)会長、(財)ひょうご環境創造協会理事、及び(財)兵庫県環境クリエイトセンター理事等の要職を歴任し、兵庫県における環境保全施策の推進に大きく貢献した。
兵庫県	まつもと しげる 松本 茂 (70歳)	昭和47年～ 22年間 県自然保護指導員 昭和57年～ 12年間 環境庁自然公園指導員 昭和47年～ 但馬野鳥の会会長 昭和47年～ 但馬自然保護協会副会長 平成8年～ 但馬自然保護協会会長	昭和47年から22年間、県の自然保護指導員として但馬地域の自然環境の巡回監視を行い、県への情報提供や多くの利用者の指導を行う等、自然保護思想の普及・啓発に多大な貢献をした。また、昭和57年からの12年間自然公園指導員として自然公園の適正な利用指導に尽力した。さらに、但馬野鳥の会及び但馬自然保護協会の設立当初から中心的人物として但馬地域の自然保護活動に貢献した。
奈良県	わたなべ としはる 渡辺 仁治 (76歳)	昭和47年 金沢大学教授 昭和50年 奈良女子大学理学部教授 昭和50年 奈良県公害対策審議会委員 昭和63年 関西外国語大学教授 平成8年 奈良県環境審議会会長	昭和50年に奈良県環境審議会委員(当時奈良県公害対策審議会)に就任。以来、昭和62年3月に同審議会の副会長を、さらに平成8年10月から現在まで同審議会の会長を務めるなど、奈良県の環境に熟知し長年にわたり、県環境行政の推進に貢献している。
島根県	おかもと ふみお 岡本 文雄 (64歳) 自然公園指導員	昭和57年6月～現在 環境庁自然公園指導員 昭和57年～ 島根県自然保護レンジャー	多年、自然公園指導員として、自然公園内を巡回し植物などの保護パトロールを行うと同時に、公園利用について利用者を指導し、公園利用道徳の高揚に努めている。また、公園を利用者が安全かつ快適に利用できるように、倒木処理や登山道の整備、清掃美化活動などを積極的に行い、自然環境の保健・保全に留意し事故防止に努めている。

県別	氏名・年齢・職業	主要経歴	功績
島根県	<small>まきた みつお</small> 榎田 光男 (54歳) 島根県自然保護指導員	昭和53年～ 島根県自然保護指導員 昭和54年～ 自然と趣味に生きる会会長	多年にわたり、自然保護指導員として県自然環境保全地域を定期的に巡回し、保全に努める。また、自ら地区の青年グループ「自然と趣味に生きる会」を設立し地域活動を積極的に行い、平成元年からは毎年コウヤマキ自生林で自然観察会を開催するなど自然保護の重要さを訴え、普及・啓発に尽力している。
岡山県	<small>あおやま いさお</small> 青山 勲 (58歳) 岡山大学副学長	平成2年～ 岡山大学教授 平成2年～ 倉敷市自然環境保全審議会委員 平成6年～ 岡山県環境審議会会長 平成11年～ 岡山大学副学長	専門の学術研究(生態化学解析)に従事するかたわら、岡山県及び倉敷市での各種審議会等の会長として、岡山県環境基本計画や倉敷市環境基本計画の策定等、環境施策に対して卓越した見識と豊富な知識を持って重要な提言を行う等多大な貢献をした。また、市民等を対象とした講演を行うなど、環境保全の啓発活動を積極的に行っている。
広島県	こぶの会 代表者 桑田 真弓	設 立 平成5年11月 構 成 員 6名	多年にわたり、地域のごみ減量化に取り組み、独自のペットボトルリサイクルシステムの確立と地域への普及啓発を率先して実施している。
香川県	<small>やました けんいち</small> 山下 賢一 (63歳) (財)香川県環境保全公社 副理事長兼専務理事	香川県環境保健部次長 香川県廃棄物対策室長 香川県環境保健部長 (財)香川県環境保全公社副理事長 (社)香川県産業廃棄物協会会長	多年にわたり、環境自然保護課長、環境保健部次長、廃棄物対策室長、環境保健部長などとして、自然環境の保全、公害の防止、廃棄物対策などの環境保全行政の推進に貢献。特に、21世紀に向けての香川県の環境保全に関する基本的な枠組みを示す条例である「香川県環境基本条例」の制定や、本県初の県立自然公園である大滝大川県立自然公園の指定等に際して、担当部長として、大いに尽力した。

県別	氏名・年齢・職業	主要経歴	功績
熊本県	<small>おおたき のりお</small> 大滝 典雄 (72歳) 阿蘇パークボランティア 環境庁自然公園指導員 熊本県自然環境保全指導員	昭和28年～62年 熊本県職員 環境庁自然公園指導員 熊本県自然環境保全指導員 熊本県自然環境保全審議会委員 阿蘇パークボランティア会長 阿蘇の自然を愛護する会副会長	阿蘇地域の自然を守るため公園利用者等に国、県の指導員として環境保全指導を行う一方、阿蘇の草原の希少植物について生育調査を独特の手法で行う等保護上貴重な植物知見を県民へ広める。また、阿蘇の草原をテーマとした作品で第2回草枕文学賞を受賞するなど阿蘇の自然を多くの人に紹介したり、希少植物のヒゴタイを主とした産山村の「ヒゴタイの里」づくりに尽力する等功績がある。
大分県	<small>ひたしりつたかせ</small> 日田市立高瀬小学校 代表者 校長 古田 京太郎 構成員 職員 20名、児童 288名	設 立 明治9年4月	多年にわたり、ゴミの減量化作戦の実践（紙類の裏面使用、リサイクルステーションの設置、給食等の残菜の堆肥化など）環境新聞の発行、環境児童集会の開催、地域で取り組む「生ゴミ堆肥化作戦」への参加、児童による「買い物袋持参運動」の展開などを通じて、地域環境保全の普及啓発活動に尽力している。
鹿児島県	<small>まつした としお</small> 松下 敏夫 (67歳) 労働福祉事業団鹿児島産業保健 推進センター所長	昭和51年 鹿児島大学医学部教授 昭和52年 鹿児島県環境審議会委員 昭和54年 鹿児島県公害健康被害認定審査会委員 平成3年 鹿児島県公害審査会委員 平成10年 鹿児島県環境審議会会長 平成11年 鹿児島大学名誉教授	長年にわたり、鹿児島県環境審議会(旧鹿児島県公害対策審議会)委員を勤められ、特に平成10年からは、同審議会の会長として鹿児島県環境基本条例及び鹿児島県環境影響評価条例の制定にあたり提言をいただくなど県環境行政の推進に貢献した。